

韓国の慰安婦問題について

日高 誠 陸士58

ピョンヤン

平昌の五輪開会に当り北朝鮮は実質的にNo2の金正恩の妹を派遣し、美女軍団等の応援団を送り込んで、南北統一の旗を掲げて南北融和を図り、文在寅大統領との宥和を成功させたかに見える。

文在寅は日韓合意をおとしめ、日本に新たな措置を求める考え方で選挙に臨み当選した。

トランプ米大統領が初めて訪韓した際、元慰安婦を登場させてハグさせ、竹島のエビを料理に提供した。それを安易に受入れたトランプ大統領も日韓関係の影響を無視した行為であり、我々日本人に与えた打撃は大きい。

そもそも慰安婦問題は売春婦の問題であり、何処の国でも存在する。米軍が日本を占領した昭和20年8月22日(9月2日の調印の前)、日本政府に対し慰安所の設置を要求し、又政府も一般婦女子の純潔を守る為、当時の予算で5千5百万円の政府保証による融資で大森海岸の小町園を初めてしてRAA(レクレエーション・アンド・アミューズメント・アソシエイション)

と称する慰安所を開設した。当時の花柳界で働いていた女性だけでは不足し、新聞広告で一般女性を募集した。その内容は書くに忍びないものであり、被害の状況は9月19日のGHQによるプレスコードの発令により報道されなくなった。

斯くのごとく占領軍の行為を書いたのは、世界中の何処の国でも行われて来たことであり、ソ連軍のドイツ占領時のベルリンに於ける行為は、スターリンが許可を与えて実施させている。

占領軍の行為と韓国が称する問題とは趣を異にしている。韓国の主張は日本軍そのものが韓国人を強制的に連行して慰安婦にした、その数20万人と称するものである。占領地に於て慰安所が開設されていたことは事実であるが、それは売春婦による行為であり、当然それを業とする民間業者の進出に伴うものである。問題は韓国が主張する「軍による強制連行」を河野洋平が認めたことに発する。彼は一体如何なる根拠にもとづいて認めたのか? 私はそのことを追及したい。世界中における総ての論調が日本が女性の人權を蹂躪した、と言うことになってしまった。

「河野発言」の及ぼす影響は日本国の2千年の歴史に最大の汚点を残すものであり、撤廃すべきである。私は国家の予算を10億円も支出して

日韓合意に持込んだことが憲法違反であり、反対する者であるが、日韓合意そのものが政治的行為として前政権が認めた慰安婦問題の解決合意であり、日本大使館前の慰安婦像撤去や不可逆的に繰返さないと云う約束は国際公約であり、文政権の発言は国際法違反(国家としての信義に反するもの)である。10億円の支払済は韓国の予算で返還すると公言していたが、今回のオリンピックに際しては発言しなかった。

しかし、釜山の総領事館前やアメリカの16の州に慰安婦の像を建立し、世界的にプロパガンダを繰り広げている。いわゆる二枚舌外交である。

北朝鮮の金正恩は文在寅に対する親書の中で来訪を要請したが、共産主義国家である北朝鮮のペースで半島の統一を図らんとしていることは明白である。北朝鮮と中国の間には緊密な攻守同盟が結ばれており、アメリカも承知しているから、安易な軍事行動はとらないのである。核開発やミサイル開発の技術的支援には中国のみならずプーチンの露国の支援も存在する。プーチンは北朝鮮は国民が雑草を喰べても開発を続けるだろうと発言している。

中国は空・海軍の増強に力を入れていく。それは米中戦争を想定していることである。日本はその事を念頭において韓国との国交を考へるべきである。